

1 富山県の動き

(1) 概況

本県経済をみると、個人消費は、緩やかに回復している。住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。設備投資は、全体として減少の見通しとなっている。公共投資は、おおむね横ばいとなっている。生産は、緩やかに増加している。雇用情勢は、改善している。一方で、人手不足感が強まっている。企業倒産の件数は一桁台となっている。消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。以上のように**最近の本県の景気は、緩やかに回復している。**

先行きについては、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

県としては、当面、社会資本整備の推進、金融対策などの中小企業支援、産業振興と一体となった雇用創造、人手不足の分野における雇成型訓練等を内容とする経済・雇用対策に取り組むとともに、医薬・バイオなどの健康関連産業、環境・エネルギー関連産業、先端ものづくり産業の育成に向けたチャレンジに取り組むこととしている。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（11月）	109.9	▲3.3%	4.5%
鉱工業在庫指数（11月）	135.0	▲1.7%	8.1%
大型小売店販売額（11月速報）	103億70百万円	（全店ベース）	▲2.3%
新設住宅着工戸数（12月）	413戸	▲31.7%	4.6%
消費者物価指数（12月・富山市）	101.3	▲0.4%	0.0%
有効求人倍率（12月・季節調整値）	1.92倍	0.00 ^ホ イト	0.09 ^ホ イト

※指数は、平成22年＝100（消費者物価指数は、平成27＝100）

※有効求人倍率（季節調整値）は、平成29年12月以前の数値を新季節指数により改訂

※鉱工業生産指数・在庫指数は、年間補正・季節指数の再計算により平成29年1月以降の数値を更新。

(2) 個人消費

個人消費は、緩やかに回復している。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、10月は101億25百万円の後、11月の速報値103億70百万円は前月比2.4%増（前年同月比2.3%減、既存店は前年同月比3.9%減）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、12月は2,911台で前年同月比3.0%増の後、1月は3,113台で同1.3%増となった。また、家計調査によると、9－11月期の平均消費支出（二人以上の世帯）は294,900円で前年同期比5.1%減となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。新設住宅着工戸数をみると、11月は総戸数605戸（前年同月比29.2%減）の後、12月は総戸数413戸（同4.6%増）で、内訳をみると、持家は216戸で同5.9%増、貸家は141戸で同9.0%減、分譲住宅は56戸で同55.6%増などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、全体として減少の見通しとなっている。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」(30年12月調査)により、30年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比14.9%減となった(ソフトウェア投資額を除く)。内訳は、製造業で前年度比29.6%減、非製造業で同2.1%増となった。

(5) 公共投資

公共投資は、おおむね横ばいとなっている。公共工事前払金保証事業統計(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ)で公共工事請負金額をみると、H30.10-12月期の平均額は、68億26百万円で前年同期比11.2%増となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、緩やかに増加している。鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済)は、10月に113.6となった後、11月は前月比3.3%低下の109.9(前年同月比4.5%上昇)となった。業種別に動き(前月比)をみると、13業種中、はん用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業の2業種が上昇し、化学工業、繊維工業、電気機械工業など11業種が低下した。鉱工業生産者製品在庫指数は、10月に137.0となった後、11月は前月比1.7%低下の135.0(前年同月比8.1%上昇)となった。業種別に動きをみると、13業種中、プラスチック製品工業、窯業・土石製品工業など6業種が上昇し、化学工業、鉄鋼業など7業種が低下となった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、改善している。一方で、人手不足感が強まっている。月間有効求人数(パート含む)は12月に27,791人(前年同月比3.0%増)、月間有効求職者数(パート含む)は12月に13,693人(同2.0%減)となった。有効求人倍率(季節調整済)は、11月に1.92倍の後、12月も1.92倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産(負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調)の状況をみると、12月に9件、負債総額6億15百万円(前年同月:8件増、6億5百万円増)の後、1月の件数は7件で、負債総額5億6百万円(前年同月:1件減、2億93百万円増)となった。産業別では、サービス業他が4件、製造業が2件、小売業が1件だった。破綻原因は、7件全て販売不振だった。

(9) 物価

消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。富山市の消費者物価指数(平成27年=100)をみると、総合指数は、11月は101.7で前月比0.1%下落(前年同月比0.6%上昇)となった後、12月は101.3で前月比0.4%下落(前年同月比同水準)となった。前月比0.4%下落となった主な要因としては、「交通・通信」、「教養娯楽」などが下落したため。また、生鮮食品を除く総合指数は101.1で、前月比は0.5%下落(前年同月比0.4%上昇)、生鮮食品の指数は105.2で、前月比0.4%上昇(同8.1%下落)となっている。

(10) その他の動き

① 工業の動き（12月～1月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>ロボット関連については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状は好調、見通しは堅調に推移している。雇用状況については、不足している。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>半導体については、生産は増加、出荷は減少となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状は堅調、見通しは低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
鉄鋼	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、不足している。</p> <p>医薬品については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
木材・木製品	<p>需要については、国産材、北洋材ともに強含みとなっている。供給については、国産材は強含み、北洋材は低迷している。価格については、国産材、北洋材ともに保合となっている。見通しは、国産材は保合、北洋材は強保合となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産、出荷ともに増加となっている。現状は堅調、見通しは低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注は横ばいとなっている。現状は好調、見通しは堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調に推移している。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

12月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は8,683人で、前年同月比5.2%減となった。主要産業別では、卸売業、小売業（5.1%）、生活関連サービス業、娯楽業（13.2%）等で増加し、建設業（▲10.3%）、製造業（▲0.1%）、運輸業、郵便業（▲27.0%）、宿泊業、飲食サービス業（▲5.6%）、医療、福祉（▲11.4%）、サービス業（▲1.6%）等で減少した。

労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、12月は1.92倍となり、前月比で同水準とし、前年同月比で0.09ポイント上昇となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	25年	26年	27年	28年	29年
雇用創出数	361人	722人	655人	556人	571人
企業立地件数	34件	49件	57件	57件	58件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 414.0ha、分譲率 97%）
 小矢部フロンティアパーク 12.7ha（うち分譲済 12.3ha、分譲率 97%）

・最近の主な立地企業（平成28年12月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
㈱日立国際電気（新生産棟）	富山市	半導体製造装置	28年12月
富山化学工業㈱（治験薬製造棟・研究棟）	富山市	医薬品	28年12月
日本カーバイド工業㈱（新研究開発センター）	滑川市	化成品、機能製品等	29年1月
渡辺功機㈱（機械組立て工場）	朝日町	産業用機械製造	29年1月
㈱アイザック	滑川市	段ボール製造	29年3月
㈱アムノス	朝日町	再生医療向け乾燥羊膜製造	29年4月
㈱能作（本社移転、工場・産業観光施設）	高岡市	鋳物製造	29年4月
ダイト㈱（高薬理R&Dセンター）	富山市	医薬品	29年6月
アイシン軽金属㈱（有磯東工場）	射水市	アルミ製品製造	29年6月
㈱富山村田製作所	富山市	電子部品	29年6月
キョーリンリメディオ㈱（高岡創剤研究所）	高岡市	医薬品	29年7月
昭北ラミネート工業㈱（新工場棟）	富山市	医薬品包装用アルミシート	29年8月
救急薬品工業㈱（新生産・研究棟）	射水市	医薬品	29年10月
㈱ゴールドウイン（研究開発施設）	小矢部市	スポーツウエア	29年11月
㈱スギノマシン（新組立工場）	滑川市	高圧ジェット洗浄装置	29年11月
日医工㈱（新生産棟）	滑川市	医薬品	29年12月
中原化成品工業㈱（新工場棟）	南砺市	樹脂製品	29年12月
㈱トンボ飲料（新工場）	富山市	ゼリー飲料	30年4月
富山スガキ㈱（新工場）	立山町	医薬品向け包装材	30年4月
ショウワノート㈱（新工場・産業観光施設）	高岡市	学習帳製造	30年5月
日本メジフィジックス㈱（新工場）	小矢部市	放射性医療品	30年5月
シロウマサイエンス㈱（新工場）	入善町	プラスチック製品製造	30年9月
コーセル㈱（研究開発施設）	富山市	電源製造	30年9月
ダイト㈱（第8製剤棟）	富山市	医薬品	30年11月
㈱内山精工（新工場）	上市町	汎用機械器具	30年11月
㈱ワイエス・ワン	富山市	ペットフード製造	30年12月
明興工業㈱	射水市	フッ素樹脂加工	30年12月
太平㈱	南砺市	プラスチック製品	30年12月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>